

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成28年4月7日 (2016.4.7)

【公開番号】特開2015-192924(P2015-192924A)
【公開日】平成27年11月5日 (2015.11.5)
【年通号数】公開・登録公報2015-068
【出願番号】特願2015-159676(P2015-159676)
【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 7 1

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月19日 (2016.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

X 線管と、

X 線検出器と、

被検体の周囲を回転可能に前記 X 線管を支持する回転機構と、

前記回転機構を制御する制御手段と、

スキャノグラムの透視方向を設定する設定手段と、

取得された投影データに基づいて、前記設定手段により設定された第 1 の透視方向に対応する第 1 のスキャノグラムを生成し、前記第 1 のスキャノグラムへの拡大指示に基づいて、前記第 1 の透視方向に対応し且つ前記第 1 のスキャノグラムより高い空間分解能を有する第 2 のスキャノグラムを生成する生成手段と、
を備える X 線コンピュータ断層撮影装置。

【請求項 2】

前記第 2 のスキャノグラムの生成の後、前記設定手段により前記第 1 の透視方向と異なる第 2 の透視方向が設定されると、前記生成手段は、前記第 2 の透視方向に対応する第 3 のスキャノグラムを生成する請求項 1 記載の X 線コンピュータ断層撮影装置。

【請求項 3】

前記生成手段は、前記第 3 のスキャノグラムへの拡大指示に基づいて、前記第 2 の透視方向に対応し且つ当該スキャノグラムより高い空間分解能を有する第 4 のスキャノグラムを生成する請求項 2 記載の X 線コンピュータ断層撮影装置。

【請求項 4】

スキャノグラムを表示するための表示手段と、

前記表示手段に表示された前記第 1 のスキャノグラム上の所定位置を拡大する拡大指示を行うための指示手段と、
を更に備え、

前記生成手段は、前記指示手段による拡大指示に係る情報に基づいて、前記第 2 のスキャノグラムを生成する請求項 1 記載の X 線コンピュータ断層撮影装置。

【請求項 5】

前記第 1 のスキャノグラム又は前記第 2 のスキャノグラムをスキャノグラム表示領域に表示する表示手段を更に備え、

前記生成手段は、前記第 1 のスキヤノグラムと前記第 2 のスキヤノグラムとの各々のスキヤン範囲全体が、前記スキヤノグラム表示領域に収まる空間分解能で、前記第 1 のスキヤノグラムと前記第 2 のスキヤノグラムとを生成する請求項 1 記載の X 線コンピュータ断層撮影装置。

【請求項 6】

前記スキヤン範囲全体に関するマトリクスサイズと、前記スキヤノグラム表示領域に関するマトリクスサイズとに基づいて、前記空間分解能としてスライス方向とチャンネル方向とに関する画素束ね方法を決定する空間分解能決定手段をさらに備えることを特徴とする請求項 5 記載の X 線コンピュータ断層撮影装置。

【請求項 7】

X 線管と、

X 線検出器と、

被検体の周囲を回転可能に前記 X 線管を支持する回転機構と、

前記回転機構を制御する制御手段と、

取得された投影データに基づいて、第 1 の透視方向に対応する第 1 のスキヤノグラムを生成し、前記第 1 のスキヤノグラムへの拡大指示に基づいて、前記第 1 の透視方向に対応し且つ前記第 1 のスキヤノグラムより高い空間分解能を有する第 2 のスキヤノグラムを生成する生成手段と、

前記第 2 のスキヤノグラムの生成後に、前記第 2 のスキヤノグラムの透視方向を変更する設定手段と、

を備え、

前記設定手段により前記第 1 の透視方向から第 2 の透視方向に変更されると、前記生成手段は、前記第 2 の透視方向に対応する第 3 のスキヤノグラムを生成する X 線コンピュータ断層撮影装置。